

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2010年3月調査結果-

2010年4月13日

## 調査要領

- 調査期間 2010年3月17日～24日
- 調査対象 200社
- 回答企業 118社
- 回収率 59.0%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を合致回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

DI値＝（増加・好転などの企業割合）－（減少・悪化などの企業割合）  
業況・採算：（好転）－（悪化） / 売上：（増加）－（減少）

## 旭川市概況

※全産業の3月の状況を見ると業況DIは、前月より1.1ポイント悪化の▲58.5。

平成7年4月調査開始以来180ヵ月連続マイナス2桁水準で推移している。

業種別では、小売業・サービス業で回復となった。

※向こう3ヵ月の先行き見通し業況DIは▲60.2と悪化しており、依然として厳しい状況である。

業種別でみると、建設業・製造業・サービス業で悪化しており、地域経済や足下の景気感は依然として厳しい状況となっている。

## 旭川市全産業DI値（前年同月比）の推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲50.8	▲57.3	▲62.3	▲60.8	▲57.4	▲58.5	▲60.2
売上	▲49.2	▲58.1	▲49.6	▲47.9	▲41.8	▲30.5	▲46.6
採算	▲40.5	▲46.8	▲51.6	▲46.3	▲40.2	▲33.1	▲43.2
仕入単価	▲12.7	▲10.5	▲15.6	▲13.3	▲22.1	▲17.8	▲25.4
従業員	▲8.1	▲14.6	▲13.9	▲17.5	▲21.3	▲12.7	▲15.3
資金繰り	▲25.8	▲24.2	▲27.0	▲25.0	▲30.6	▲26.3	▲30.5

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲40.0	▲59.3	▲56.0	▲64.0	▲65.4	▲68.0	▲72.0
製造	▲56.0	▲52.2	▲54.2	▲50.0	▲57.7	▲58.3	▲62.5
卸売	▲55.2	▲59.3	▲55.6	▲59.3	▲50.0	▲40.0	▲48.0
小売	▲47.8	▲65.2	▲68.2	▲66.7	▲52.6	▲50.0	▲45.5
サービス	▲54.5	▲50.0	▲79.2	▲65.2	▲60.9	▲77.3	▲72.7

## 今月のトピックス（業界の声）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繰越工事が減少。22年度も厳しいスタートとなり、競合は一層厳しく独自性の追及が求められる。</li> <li>・ スタートは改善したものの、先行きは見えない。</li> <li>・ 昨年から営業をかけていた物件が次々と中止になっている。国の予算カットが現実而降りかかってきた。</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材の値上がりを通告され、駆け込み需要を期待するも動きがやや鈍い。人員を減らさず従業員の配置転換や入れ替えを大胆に進め、経営改善を図っている。</li> <li>・ 住宅エコポイントのスタートにより、新築・リフォーム向けの受注に多少期待している。新作の全国巡回展が終了したが、プロユーザーからの評価も良く拡販を目指す。</li> <li>・ 3月というのに仕事の方は動向が悪い。鉄についてはメーカーが値上げしてきているが、使う予定のはっきりしていない物を在庫でかかえる時代ではない。仕事の予定がたたないので、いるものをいる時に調達するといった傾向が強い。</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上は若干マイナスとなるも、営業労力と経費節減と合理化で減収増益としたい。</li> <li>・ ようやく底を打った感が出てきた。売上・利益ともやや上向き加減にあり、新年度の動向に注目。</li> <li>・ 昨年対比 15%減少である。</li> <li>・ 3月は年度末ということで、本来は多忙な時期だが動きが遅いような気がする。売上の的には順調だが不良債権の発生もあり、得意先管理が必要な時代になった。データバンクの活用が増えてきており難しい時代である。</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年3月は、新卒やビジネスマンのスーツの買い換えなどの需要が出てくるが、今年は少なく売上が伸び悩んでいる。カジュアルアイテムもシャツやカットソーなど単価の低いものが売上のメインで、アウターの動きが悪いのもマイナスの要因。</li> <li>・ 石油元売は減産により市場価格との整合性を意図しており、値上げの方向に向かっている。冬期灯油需要も先細りとなり、値上げ後の販売が心配される。エコ代替燃料も徐々にその位置を高め、石油全般の販売数量の伸長性は少ない方向。</li> <li>・ 今年は過去にない厳しい時代になりそうだが、攻めの気持ちを忘れず新しい企画を立てていきたいと思う。目指すは業界 NO.1 の商品作りである。</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今月売上前年比-10%見込み、観光客減で益々宿泊単価下落（特にネット販売）デフレスパイラル状況。</li> <li>・ 3月は業界にとっては繁忙期であるが、年々売上は減少してきている。今後売上の増加要因がなく、対前年度維持すら難しくなると思われる。</li> <li>・ 重点 PR を行ってきた学生の需要に期待。</li> <li>・ 稼働率前年並み。しかし、販売価格の下落により売上減の見込み。特に週末の稼働及び、観光客の減少が目立つ宴会の送別会需要は前年並み。</li> <li>・ 3月は各家庭の支出が多くなる月。天候不順もあり、売上げは前年よりやや落ちると思われる。</li> <li>・ 上旬までは前年を上回る状況。ただし、中旬・下旬においては不透明。</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI10.5 ポイント、採算 DI9.8 ポイント、仕入単価 DI10.8 ポイント、従業員 DI18.9 ポイント、資金 DI14.2 ポイント回復。総じて業況 DI は 2.6 ポイント悪化となった。業種別では、建築業 40 ポイント回復。総合工事 11 ポイント、設備その他 38 ポイント悪化となった。スタートは改善したものの、先行きは見えないとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI25.6 ポイント、採算 DI21.5 ポイント、仕入単価 DI17.6 ポイント、従業員 DI29.5 ポイント、資金 DI1.3 ポイント回復。総じて業況 DI は 0.6 ポイント悪化となった。業種別では、家具木材 18 ポイント回復。食料品横ばい。印刷出版 17 ポイント、金属窯業他 6 ポイント悪化となった。人員を減らさず従業員の配置転換や入れ替えを大胆に進め、経営改善を図っているとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>従業員 DI9.7 ポイント悪化。売上 DI7.3 ポイント、採算 DI9.0 ポイント、仕入単価 DI5.9 ポイント、資金 DI2.8 ポイント回復、総じて業況 DI も 10.0 ポイント回復となった。業種別では、その他 21 ポイント悪化。繊維 33 ポイント、食料品 18 ポイント、機械鋼材 14 ポイント回復となった。3月は年度末ということで、本来は多忙な時期だが動きが遅いような気がするとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>採算 DI9.3 ポイント、仕入単価 DI22.7 ポイント悪化。売上 DI8.1 ポイント、従業員 DI0.7 ポイント、資金 DI8.1 ポイント回復、総じて業況 DI も 2.6 ポイント回復となった。業種別では、衣料品 17 ポイント、食料品 25 ポイント悪化。家電時計横ばい。自動車 24 ポイント回復となった。毎年新卒などスーツの買い替えなどの需要が出てくるが、今年は少なく売上が伸び悩んでいるとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI1.8 ポイント、採算 DI2.4 ポイント、仕入単価 DI3.8 ポイント回復。従業員 DI0.4 ポイント、資金 DI5.9 ポイント悪化、総じて業況 DI も 16.4 ポイント悪化となった。業種別では、飲食 60 ポイント悪化。クリーニング、その他、飲食横ばい。ホテル 50 ポイント、整備業 67 ポイント、運送 20 ポイント悪化となった。今後の売上増加要因がなく、対前年度維持すら難しくなると思われるとの声も寄せられている。</p>